

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 吸引キット 13846000

MMI 気管吸引キット 吸引カテーテル付

再使用禁止

【警告】

吸引を行う際は、徐々に吸引圧を上げること〔急激に上げると粘膜組織を引き込み、損傷させるおそれがあるため〕。

【禁忌・禁止】

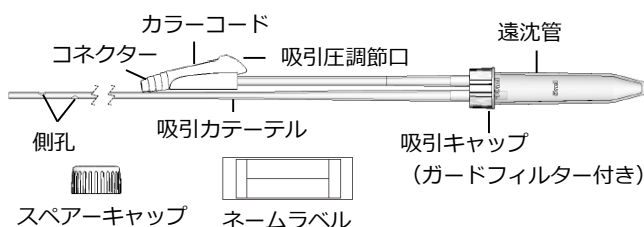
〈使用方法〉

再使用禁止、再滅菌禁止。

*【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本品は、EOG滅菌済みである。



吸引カテーテル サイズ	カラー コード	長さ (吸引カテーテル)	遠沈管 容量
4.0mm (12F)	白	545mm	10mL
4.67mm (14F)	緑		

カラーコードは JIS T 3251 に基づく。

2. 原材料

吸引カテーテル: ポリ塩化ビニル

(可塑剤: フタル酸ジイソノニル)

3. 原理

本品に吸引源を接続し、吸引カテーテルを患者の気道内等に挿入して吸引圧をかけることにより気道内等の分泌物等を吸引して遠沈管に回収する。吸引圧調節口を指で塞いだり、開放することにより吸引カテーテル内の陰圧を調節できる。

【使用目的又は効果】

気管内チューブ若しくは気管切開チューブを介して、又は経鼻的若しくは経口的に、咽頭、喉頭、気管等に挿入し、分泌物等の吸引・回収等に用いる。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) 使用に際して、本品及び吸引源(吸引器、壁配管等)を準備する。
- 2) 滅菌包装から本品を取り出し、傷、汚れ、つぶれ、折れ等の異常がないことを確認する。
- 3) 吸引源にコネクタを接続する。
- 4) 吸引源を作動させる。
- 5) 吸引圧調節口を開放した状態で吸引カテーテルを口腔内、鼻腔内、気道内等に吸引カテーテルをゆっくり挿入する。

- 6) 吸引圧調節口を指で塞いで吸引圧を調節しながら吸引を開始し、分泌物等の回収を行う。
- 7) 吸引・回収が終了したら、吸引圧調節口を開放し、吸引源を停止する。
- 8) 吸引カテーテルをゆっくりと抜去する。
- 9) 遠沈管を吸引キャップから取り外し、付属のスプアーキャップを取り付けてネームラベルを貼付する。

2. 使用方法に関連する使用上の注意

- 1) 十分な吸引ができない場合、吸引源とコネクタ、吸引キャップと遠沈管がしっかり接続され、リークがないことを確認すること。
- 2) 吸引カテーテルの折れ、つぶれ等の変形が発生しない吸引圧で使用し、吸引中は吸引カテーテルの折れ、つぶれ、ねじれ等の発生がないことを適宜確認すること。
- 3) 吸引中は遠沈管を傾けないこと〔回収液がフィルターに付着すると吸引圧が下がり、吸引できなくなるおそれがあるため〕。
- 4) 遠沈管の容量を超えて吸引しないこと〔回収液が逆流したり、吸引源に吸引されるおそれがあるため〕。
- 5) 吸引カテーテルを抜去する際は吸引圧調節口を開放した状態で行うこと〔粘膜組織が損傷するおそれがあるため〕。
- 6) 遠心分離操作を行う際は、過度な回転数及び遠心加速度による操作を行わないこと〔遠沈管が破損したり、回収液が漏出し、飛散するおそれがあるため〕。

遠沈管の遠心強度参考データは以下のとおりである。

遠心加速度	回転時間
3000g	10分

【使用上の注意】

不具合・有害事象

- 1) その他の不具合
機器の破損/変形、挿入困難、閉塞、接続外れ
- 2) 重大な有害事象
無気肺、低酸素症、感染、粘膜組織の損傷、出血

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
2. 滅菌有効期間
3年

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: **村中医療器株式会社**
TEL: 0725-53-5546



製造業者: パシフィック ホスピタル サプライ社 台湾
Pacific Hospital Supply Co., Ltd.